

支部だより

佐賀県唐津支部

支部総会の開催

令和五年五月十四日(日)に唐津市西の浜「大成公民館」において、佐賀県唐津支部の総会を開催しました。開会に先立ち、会員物故者への「黙祷」を捧げました。

鶴事務局長の司会進行で開催され、藤元支部長が議長を務めて、議題の審議を図りました。物故者や退会会員があり、役員改選を行いました。

令和五年度の「事業計画案、予算案」等が審議され、何れも全会一致で採択されました。藤元支部長より、会員増強と唐津市全域からの表彰対象者を、見つける作業を全会員に呼びかけられて、総会は幕を閉じました。



福岡県北九州支部

秋季善行受賞者 伝達式を二か所で開催

開催

令和五年五月十七日、八幡西区役所コムシティにおいて、昨年、コロナ禍にて中止となった令和四年度秋季受賞者の伝達式を開催し、八幡地区在住の受賞者に対して、表彰状及び善行章が授与されました。

来賓に、松尾統章県議会議員、神野洋一八幡西区長など多数の臨席を賜りました。

また、他地域の受賞者に対しては、地元首長であるみやこ町長を2名の



受賞者と共に表敬訪問し、町長より伝達がなされました。町長より、善行会の活動と受賞者の貢献に対し、謝辞をいただきました。

ふる里自慢

東京都狛江支部

小さな市の「のびやかな魅力」

狛江市は、東京都多摩東部に位置する全国で二番目に小さい市で、面積6.39km²のほぼ中央を小田急線が走っている。「狛江」和泉多摩川の二つの駅があり、どこからでも新宿や渋谷、青山などに三十分程度で行くことができる。都心に近い交通に恵まれた地

域にもかかわらず、緑豊かな多摩川と野川にはさまれ、閑静な住宅地が占める割合が多い。東京を流れる多摩川は、他にも共有する市や区が多いが、堤防の上では、澄んだ空気を吸いながら走ったり、歩いたりする市民でいつも賑わっている。



とりわけ大きな空と広い河川と桜の見事な調和が楽しめる春はまさに絵のように美しい。全国あちらこちらの桜の名所と趣を異にし、観光的ではなく、普段着ののびやかさがあることはいまや貴重な魅力といえるだろう。

子どもと自然が触れ合う「水辺の楽校」や泥んこ遊びや木登りができる「プレーパーク」に集う子どもたちも実にのびやかだ。近年市外からの参加も多く人気を博しているイベントに夏に開催される「狛江古レース」がある。タイム

狛江駅前いかにの小さな森も市民として誇らしい。この区域は都市計画道路等の一部として整備さ



れるはずだったが、市民が力を合わせて森を守り、東京都から「特別緑地保全地区」として指定されるに至っている。小さいながらも豊かで美しい森が狛江に隣接しているのである。今では、市と市民が協力して保全・管理をして後世に伝えようとしている。

市内に古墳がいくつも点在していることから分かる通り、狛江の歴史は古い。古き良き伝統を守る古くからの住人と、自然の良さを知る新しい住人とが共に歩み寄

り、古刹こさくの泉龍寺の境内を利用した「狛江フェスティバル」や狛江駅前の側道を使う「泉の森テラス」などのイベントも定着してきた。「絵手紙発祥の地」「音楽の街」としての文化活動も活発だ。子どもから



お年寄りまで、誰もがより住みやすいと感じる街づくりのために、少しでも役立てたらと願う日々である。

七月号の受賞者の喜びの声の春季表彰の伊古田さんの住所が東京都大和市と記載がありましたが、正しくは、東京都東大和市です。ご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。

訂正とお詫び

群馬県北毛支部

令和五年度定期総会並びに特別善行表彰金章・銀章の伝達式の開催について

令和五年度定期総会並びに特別善行表彰金章・銀章受賞者に対する伝達式を会員六十六名の出席のもとに、去る六月四日



右より みやこ町町長、進勝教氏、進三剛氏

群馬県北毛支部

(日) 渋川市石原所在の「ホワイトパーク」において開催しました。定期総会に先立ち、去る五月二十日、明治神宮参集殿において特別善行表彰金章・銀章を受賞した八名に対し、島村支部長からその功労をたたえ、会員に披露すると共に、支部記念品を添えて伝達を行いました。



総会は、島村支部長の挨拶に続き、本部勝野堅介会長の祝電披露があり、令和四年度の事業報告・収支決算報告、監査報告が行われ、原案通り決議・承認されました。本年度から顧問三名をもうけ、支部長一名、副支部長六名、監事二名、会計書記二名、理事十一名と体制を強化して、会員総数一五七名がよりしつかりした活動が出来るよう強化を図りました。

総会終了後、同ホワイトパークにおいて祝賀・懇親会を行い、受賞者から「今回、受賞を受け、善行を継続して来て心から良かった。身に余る思いで大変嬉しいです。今後も継続して行きたいと思えます。」などの感想を頂くと共に会員同士の情報交換、融和親睦を深め

合いました。又、翌日の五日には、愛好者十七名が参加したゴルフコンペを行い、会員間の絆を強くしました。

